

福島県環境創造センター の説明会を開催しました

福島県が田村西部工業団地に建設をすすめている福島県環境創造センターについて、町では7月30日に町内の商工業者を対象とした説明会を開催しました。

説明会には町内の建設、サービス、金融機関などから40名以上が出席し、センターに職員を派遣する福島県、国立環境研究所、日本原子力研究開発機構の担当者が施設の概要や事業内容について説明を行いました。また、センターには200名を超える職員が勤務することにより、職員の住宅や食事の提供、交通網の整備などが必要となることから、地元企業等の積極的な協力をお願いしました。



説明会のようす

ステーション祭が

開催されました

8月2日、さくら湖自然観察ステーションで「ステーション祭」が開催されました。天体・野鳥観察、昆虫採集、水生生物観察、木の実クラフト、ネイチャーゲームなどの各種観察会を実施しました。

昼間の太陽の観察や鳥の標本を使った野鳥観察、顕微鏡を使った水生生物の観察など、多くの自然を観察し、学習することができました。



野鳥の標本を観察する子どもたち

東京目黒の子どもたち

三春で夏合宿

東京都目黒区の目黒ビーターズ（軟式野球チーム）総勢47名が夏合宿のため三春町へやってきました。

合宿は、8月15日から17日までの3日間行われました。途中悪天候に見舞われながらも、子どもたちは、毎日練習に励んでいました。

また、練習の合間に沢石で野菜の収穫体験をしたり、三春盆踊りに参加したりと、三春の夏を満喫しました。



野球の練習のようす

第11回アメリカサマー

キャンプ派遣団帰国

三春町教育委員会とNPO法人三春町国際交流協会が実施した第11回アメリカサマーキャンプに参加した中学生3名が8月8日無事帰国しました。派遣団は、7月30日から8月7日まで、三春町の姉妹都市アメリカ合衆国ウイスコンシン州ライズレイク市内でホームステイを体験しながら、ウイスコンシン州立大学バロン郡校において専任講師による英会話の授業を受けてきました。

また、少年使節団としてライズレイク市長表敬訪問を始め、昨年メンテナンズを行ったウイスコンシン州立大学バロン郡校内の日本庭園の視察など現地できざまな活動を行ってきました。派遣団は、今回の国際姉妹都市交流を通じて、英語や日本とアメリカの歴史・文化の違いについて学び、国際理解をより深めて帰ってきました。



ライズレイク市長表敬訪問



ホストファミリーとの交流